

ロマンは実を結ぶ

京都地方本部 京都支部

No.248

京都支部は、京都地本の中で、運輸4分会・乗務員区3分会・運転区2分会・工務6分会と間接1分会、関連1分会の計17分会で構成されています。

執行部は、竹岡執行委員長の「みんなで活動しよう！」を合言葉に、9名の執行委員と支部青年女性委員16名と一緒に、本部・地本・分会の行事などに

参加し、支部独自のレクリエーションなど様々な活動を行っています。

また、昨年の大会より、執行部は全てJR採用のメンバーとなりました。

組合事務所は、京都地本に隣接しており、地本とも連携しながら活動しています。

支部ニュース「京都支部 ニュースどす・どやさ」も

賞しています。

春闘では、各決起集会へ

京都支部開催の主なレクリエーション活動

- ・ボウリング大会
- ・ゴルフ大会
- ・夏のBBQ
- ・和菓子作り体験
- ・キックベース大会
- ・ラフティング体験



組合員同士の横の繋がりが 支部活動の原点

発行し、本部機関紙コンクールでは、支部の部で、特別賞2回、努力賞1回を受

の参加、撤布の作成、京都駅ビル大階段駆け上がり大会では、前日準備から当日の運営スタッフとして参加

し、春闘を盛り上げています。

支部の活動は、組合員同士の横の繋がりが大事だと考えています。

「みんなで活動しよう！仲間同士の絆を結ぼう！」をめざして、JR西労組運動に取り組んでいきます。

(京都地本発)



講演を行う白壁副委員長左は新保組織業務部長



冒頭、JR西労組出身の荻山会長による挨拶では、「JR産業が社会の変化に対応して労使の持続的な発展を築いていくためには、JR連合の組織と運動を磨いて足元を固め、組合員会社、社会から信頼される運動を実践するとともに、JRグループ、JR産業に働くすべての仲間の総結集を目指していく」と決意を述べた。

議事では、安全を最優先にJR産業の明るい未来を切

広島地方本部は、2月1日(土)広島地方本部会議室に於いて、各支部より女性組合員21名の参加のもと、第1回ユニコミーティング

多くの組合員が参加 諸条件の向上を目指して

広島地方本部 第1回「ユニコミーティング」

を開催した。

中央本部より、白壁副委員長、新保組織・業務部長を迎え、代表して白壁副委員長より賃金制度に関する講演を受けた。その後、ケーキを食べながらの座談会では、女性組合員が抱える職場の問題について、短時間勤務制度・短日数勤務制度の改善、フレックス制度対象者への半休の拡大等、直面する課題などの意見が多く出された。

今回出された意見は、中央本部及び地方本部交渉へ反映し、問題の解決に向けて取り組むこととします。

今回のユニコミーティングは多くの女性組合員に参加いただき有意義なミーティングとなった。

今後も、広島地本は、全ての

女性組合員とともに、より女性が働きやすい職場環境の確立、諸条件の向上を目指して運動を展開していくこととします!! (広島地本発)

JRグループ全体の 春闘方針を決定

JR連合第32回中央委員会

JR連合第32回中央委員会が2月5日(水)、JRホテルクレメント高松に於いて、中央委員、傍聴執行部を含めて200名が集まり開催された。

冒頭、JR西労組出身の荻山会長による挨拶では、「JR産業が社会の変化に対応して労使の持続的な発展を築いていくためには、JR連合の組織と運動を磨いて足元を固め、組合員会社、社会から信頼される運動を実践するとともに、JRグループ、JR産業に働くすべての仲間の総結集を目指していく」と決意を述べた。

議事では、安全を最優先にJR産業の明るい未来を切



質疑において発言を行う松原副委員長

一ロメモ 2020春闘に向けて③ 2019年度 第3四半期決算

会社は、1月31日に、第3四半期決算を発表した。中央本部は、2月6日に経営協議会小委員会を開催し、第3四半

参考

2019年度 第3四半期決算について

2020年1月31日
西日本旅客鉄道株式会社

1 決算概要 (損益計算書)

	第3四半期累計				通期累計予想			
	2018年度	2019年度	増減	比率	2018年度実績	2019年度	増減	比率
	A	B	B-A	B/A	C	D	D-C	D/C
営業収益	(1,533)	(1,522)	225	102.0	(1,567)	(1,567)	406	102.7
営業利益	11,290	11,516	225	102.0	15,293	15,700	50	102.6
経常利益	1,797	1,911	114	106.4	1,969	2,020	50	102.6
純利益	1,678	1,800	121	107.3	1,833	1,895	61	103.4
純利益(当期)	(1,225)	(1,175)	977	119.8	(1,275)	(1,240)	172	116.8
営業収益	7,393	7,591	198	102.7	9,809	10,050	240	102.5
営業費用	6,604	6,809	205	103.1	8,734	8,990	255	102.9
営業利益	5,900	5,986	85	101.5	8,301	8,495	193	102.3
経常利益	1,492	1,604	112	107.5	1,507	1,555	47	103.2
純利益	1,368	1,492	124	109.1	1,364	1,423	60	104.4
純利益(当期)	801	1,004	202	125.3	806	965	158	119.7

(注) < > は、連年倍率を示しております。

く。なお、委員会には新たにJR連合にオプ加盟した「奈良ホテル労働組合」が紹介され、加盟証書が手渡された。

JR西労組は、「賃金は最大

期決算についての説明を受けた。

影響を受けたものの、緩やかな景気回復を背景に、新幹線の利便性向上等により多客期やインバウンド需要の取り込み

「決算のポイント」

1 第3四半期決算は、連結単体ともに増収増益。

・単体は、台風19号(10月)の影響を受けたものの、緩やかな景気回復を背景に、新幹線の利便性向上等により多客期やインバウンド需要の取り込み

2 通期業績予想については、台風19号の影響を含めて概ね想定範囲内で推移していることから、連結・単体ともに、2019年10月28日発表の業績予想から見直していない。

3 2019年度は、「JR西日本グループ中期経営計画2022」における「めざす未来ありたい姿」の実現に向けて、「地域価値の向上」「線区価値の向上」「事業価値の向上」をめざし、鉄道事業・創造事業が一体となった施策を着実に推進する。



質疑において発言を行う西原西バス委員長



労働組合の原点の一つである相互扶助の精神から、米子地本が2006年6月から社会貢献活動の一環として始まった「プルタブ回収」については、一つの

「みんなで活動しよう！仲間同士の絆を結ぼう！」をめざして、JR西労組運動に取り組んでいきます。

(京都地本発)

目標であった800kgを達成し、2014年2月の「第17回JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会」において、交換した車椅子1台を京都府に寄贈することが出来ました。

しかしながら、車椅子を寄贈した後は、停滞しているのが現状です。回収ボランティアは「誰もが、どこでも、簡単に」取り組める内容です。また組織の連携強化として何かを達成するための一つのツールとしてJR西労組として各級機関での取り組みを行い、早期に2台目を寄贈できるようにプルタブ回収ボランティアの強化期間を設けます。ご家族も含めた全組合員のご協力をお願い致します。

**強化期間
2019年12月23日~
2020年12月31日**

第17回京都駅ビル大階段駆け上がり大会にての車椅子贈呈の様子

**2台目寄贈まで残り201kg!!
全員参加で目標達成に向けて取り組もう**

**2020年春闘勝利へ
弾みをつけよう!**

171段を駆け上がれ

第23回 JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会
2020/2/22(土)
京都駅ビル4階室町小路広場
受付 10:00~
開催時間 10:30~
参加チーム 80チーム

20春闘勝利へ弾みをつけよう!!
今年も多くの組合員が参加し、目標達成に向けて取り組もう!!